

TAUTO CLEAN DRY

オートクリーンドライ®

LD-60CASH(B)

取扱説明書 保証書付

このたびは **オートクリーンドライ®** をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
裏表紙の保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。



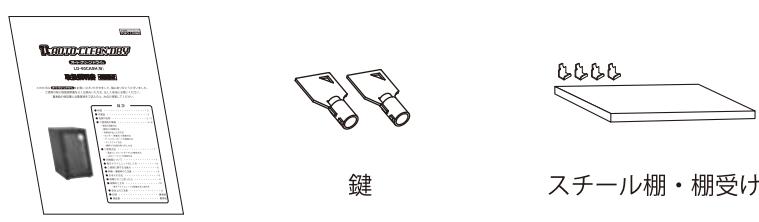
目次

● 特長	2
● 付属品	2
● 各部の名称	2・3
● ご使用前の準備	3～6
・製品の設置方法	
・棚受けの設置方法	
・棚押さえ金具の取り外し方法	
・収納品の出し入れ方法	
・ホルダー(脱着式)の脱着方法	
・ディスプレイボードの脱着方法	
・ディスプレイ方法	
● ご使用方法	7
・湿度コントロールダイヤルの使用方法	
・LEDバーライトの使用方法	
● 光触媒について	7
● 電子ドライユニットのしくみ	8
● ご使用に関する注意点	8
● 移動・運搬時のご注意	8
● お手入れ方法	9
● 故障かな?と思ったら	9
● 故障のときは	10
● 安全上のご注意	11
● 仕様	裏表紙
● 保証書	裏表紙

特長

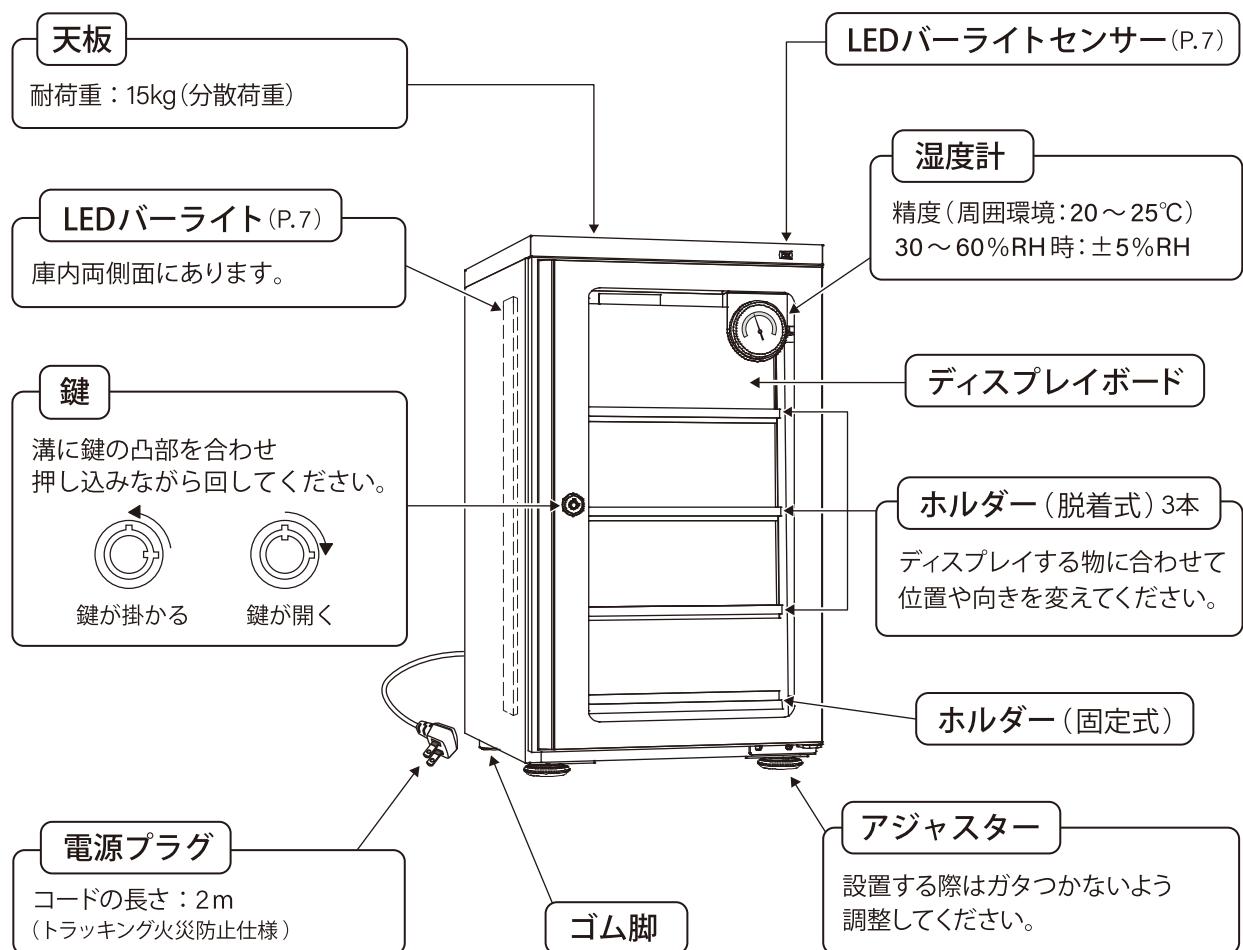
- ・庫内湿度は30～50%RHの範囲で設定可能です。
- ・東洋リビングが開発した光触媒機構の高性能電子ドライユニット（日本製）の採用により消臭・抗菌・防カビ効果で庫内をクリーンに保ちます。
- ・業界初の非接触型センサーを採用し、庫外右上のセンサーに手をかざすだけで照明をON/OFFできます。照明が点灯した状態で8分間経過すると自動で消灯します。
- ・電気代は1日約1円の超省エネ設計です。

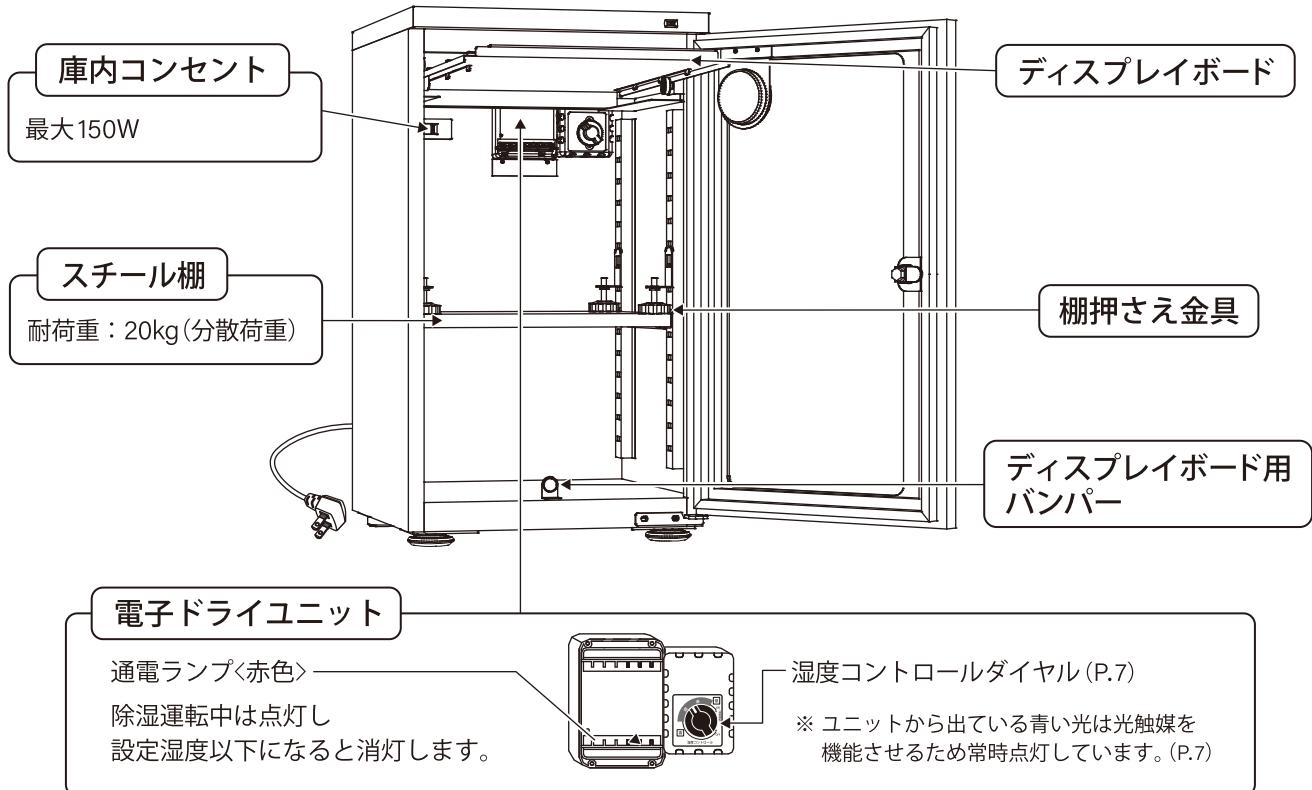
付属品



取扱説明書 (保証書付)

各部の名称

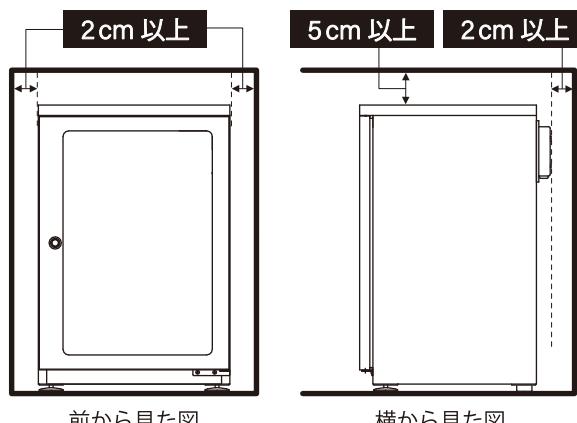




ご使用前の準備

製品の設置方法

放熱を妨げないため、下図のように設置スペースを確保してください。



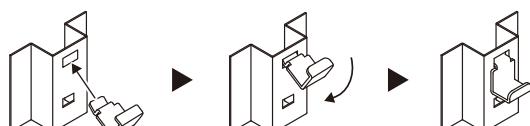
前から見た図

横から見た図

【注意点】

- 水平で丈夫な面に設置してください。
- 設置する際、ガタつかないようにアジャスターを回して調整してください。
- キャビネットの上方は5cm以上、左右とユニットの背面からは2cm以上の空間を設けて設置してください。
- 2台以上並べて設置する際は左右2cm以上の間隔を確保してください。
- 換気できない狭い空間には設置しないでください。
- 積み重ねや、本体を倒して使用しないでください。

棚受けの設置方法



棚受けを差し込みます。

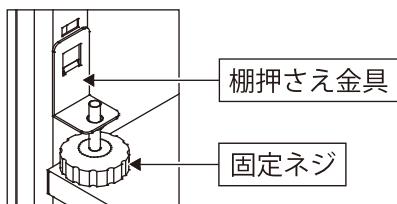
棚受けを下方方向へ下ろします。

【注意点】

- 棚受けは手前側と奥側で左右とも同じ高さに差し込んでください。
- 電子ドライユニットがある位置には棚を設置できません。

棚押さえ金具の取り外し方法

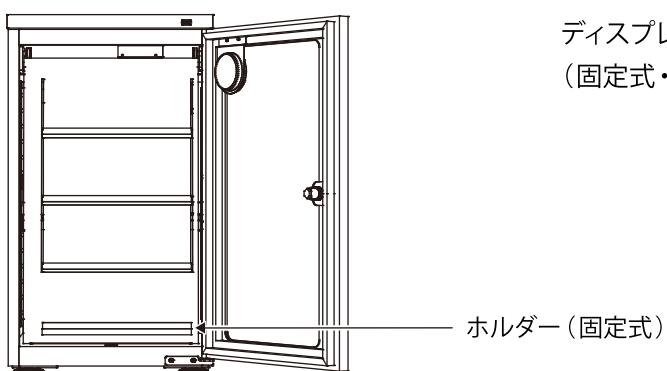
棚押さえ金具と固定ネジは輸送中の棚板落下防止用です。



- ① 固定ネジを上から見て反時計回りに回してください。
- ② 固定ネジと棚板の間に隙間が生じましたら、
棚押さえ金具を取り外してください(棚1枚につき4ヶ所)。

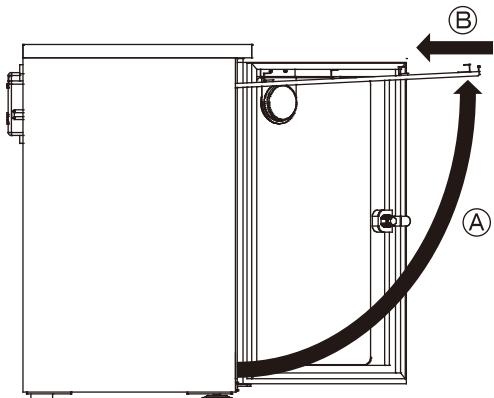
収納品の出し入れ方法

①



ディスプレイボードに付いているホルダー
(固定式・最下段)を掴みます。

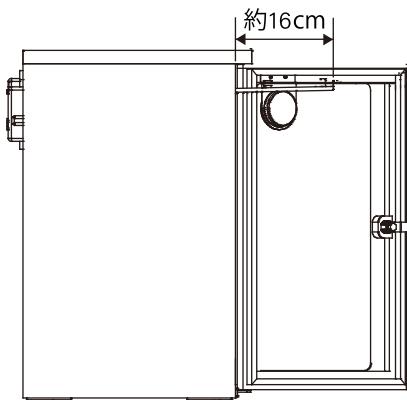
②



ディスプレイボードをⒶのように引き上げ
防湿庫の奥へゆっくりと押し込みます(B)。

※ディスプレイ品がホルダーの幅以内で
あれば、飾った状態のままで押し込む
ことが可能です。
その際、ディスプレイ品が落下しない
ようにご注意ください。

③

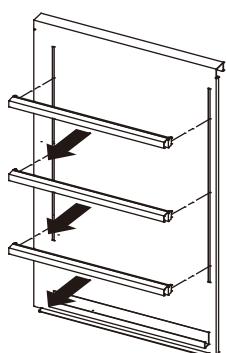


ボードが本体から約16cm出た状態で
止まりますので、収納品を出し入れして
ください。

※ディスプレイボードは必ず手を添えて
元の位置まで戻してください。
途中で手を離すとディスプレイボードや
ディスプレイ品が落下し、破損する
おそれがありますのでご注意ください。

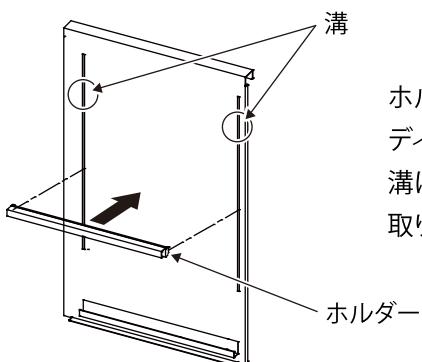
ホルダー(脱着式)の脱着方法

■ ホルダーを取り外す



ホルダーはマグネットで
張り付いているため、
引っ張ることで取り外しが
できます。

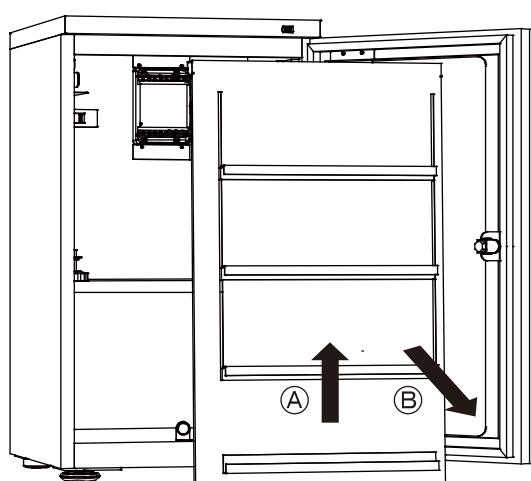
■ ホルダーを取り付ける



ホルダーを
ディスプレイボードの
溝にはめ込むように
取り付けます。

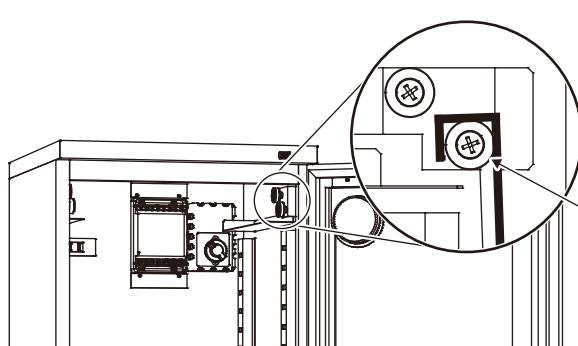
ディスプレイボードの脱着方法

①



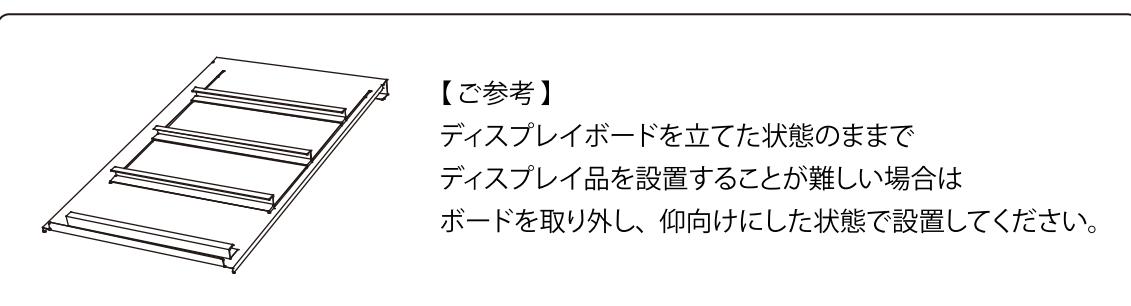
ディスプレイボードを上方向へ持ち上げます(Ⓐ)。
持ち上げた状態で手前に引くと、取り外すことが
できます(Ⓑ)。

②



取り付ける際は、下側(手前)のベアリングに
ディスプレイボード上部の折り曲げ部分を
引っかけてください。

下側(手前)のベアリング



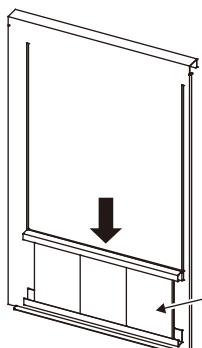
【ご参考】

ディスプレイボードを立てた状態のままで
ディスプレイ品を設置することが難しい場合は
ボードを取り外し、仰向けにした状態で設置してください。

ディスプレイ方法

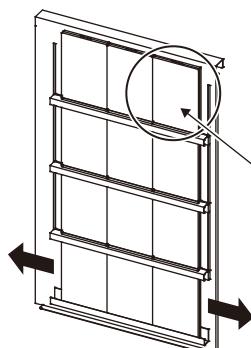
(例) カードケース(マグネットローダー方式)のディスプレイ

①



ホルダー(脱着式)を下へスライドし、カードケースを上下のホルダーで挟みます。
このとき、ホルダーの間にケースが入り込むように固定してください。

②

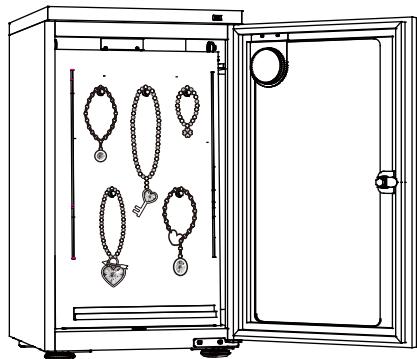
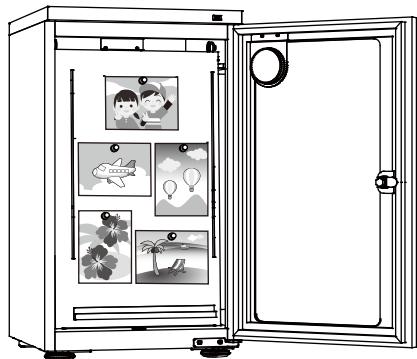


そのまま上に積み重ねるようにカードケースを並べます
(最大12枚の設置が可能です)。

※カードケースの上下に少し余裕を持たせてホルダーを設置していただくと、カードを交換する際にケースを左右にスライドさせて出し入れすることができます。

※CDケースもカードケースと同様に設置可能です。CD 2枚を横に並べてディスプレイした場合はホルダーの幅を超てしまい、ディスプレイボードを防湿庫の奥へ押し込むこと(P.4 ②参照)ができないため、一旦CDを取り外してください。

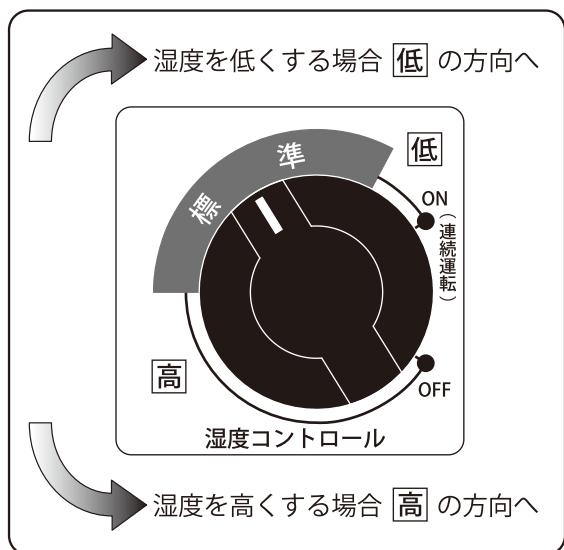
(例) マグネットを使用したディスプレイ



※市販のマグネットをご使用いただき、写真・アクセサリー等をディスプレイすることも可能です。

ご使用方法

湿度コントロールダイヤルの使用方法

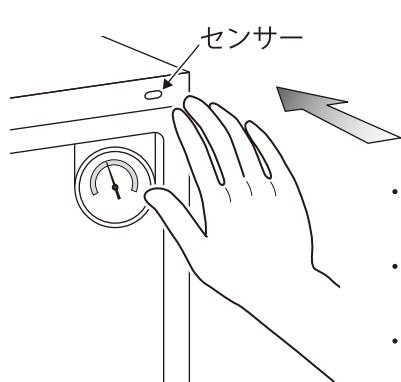


1. 電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。
2. 濕度コントロールダイヤルを「標準」の位置で半日から1日ほど庫内に何も入れない状態で運転してください。
3. 庫内の湿度が30～50%RHになりましたら保管物を入れてください。

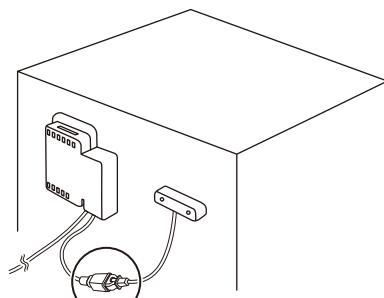
【注意点】

- ・保管物を入れると一時的に湿度が上がりますが、徐々に下がりますので問題ありません。
- ・湿度が高い時期は安定するまでに時間がかかることがあります。
- ・加湿機能はありませんので、湿度が低い時期は庫内の湿度が設定湿度より下がることがあります。

LEDバーライトの使用方法



- ・センサー(約5cm以内)に手を近づけると点灯します。
- ・点灯した状態で、同じ要領で手を近づけると消灯します。
- ・点灯したまま8分経過すると自動で消灯します。



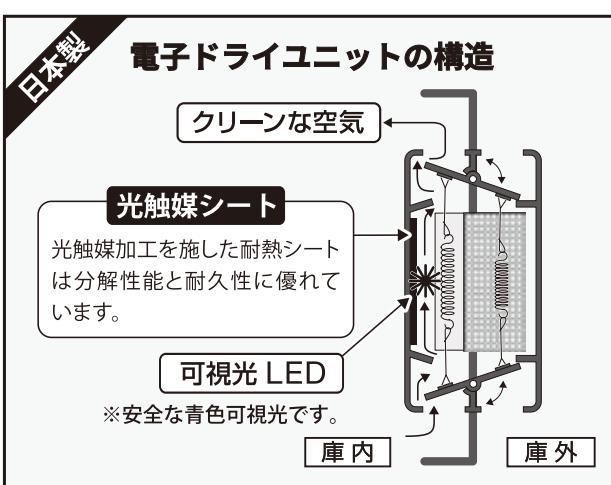
電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

光触媒について

光触媒とは光のエネルギーによって働く触媒のことで、光触媒に光を照射したときの強力な酸化力により、有機化合物を水や炭酸ガスに分解します。東洋リビングの光触媒機構は、常時可視光LEDを照射するため消臭・抗菌・防カビ作用が連続して行われ、常に庫内をクリーンに保つことができます。

光触媒機構の電子ドライユニット

吸湿作用(特許)で庫内の湿度を下げるだけでなく、光触媒と可視光LEDにより光触媒作用が連続して行われ、庫内をクリーンな状態に保ちます。



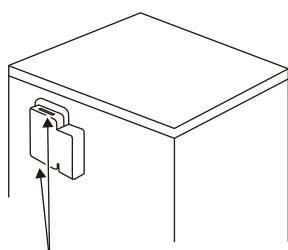
電子ドライユニットのしくみ

- 湿度コントロールダイヤルで設定した湿度より庫内の湿度が高くなると除湿運転を行います。
- 除湿運転中は通電ランプが赤く点灯し、以下の①と②の動作を6時間毎に繰り返します。
 - 電子ドライユニット内の乾燥剤を30分間加熱することで吸収した湿気を庫外に放出し乾燥能力を再生します。
 - 乾燥能力再生後5時間30分で庫内の湿気を電子ドライユニット内に取り込み乾燥剤に吸着させます。
- 庫内の湿度が設定した湿度以下になると通電ランプが消灯し、除湿運転を停止します。
- 再び設定湿度より高くなると通電ランプが点灯して除湿運転を再開します。
- 湿度コントロールダイヤルを「ON(連続運転)」に合わせると連続して除湿運転を行います。
- 湿度コントロールダイヤルを「OFF」に合わせると、除湿運転は行いません。

ご使用に関する注意点

- 保管物を庫内に入れると、一時的に庫内の湿度が上がります。
- 庫内の湿度が下がって安定するまでに1~2日かかる場合があります。
特に湿気を含む物を入れると、湿度が安定するまでに1週間以上かかる場合もあります。
- 電子ドライユニットの加熱再生中は熱を持ちますが、異常ではありません。
- 電子ドライユニットの加熱再生中やその前後は、設定に対し高めの湿度を表示することがあります。
- エアコンなどの風が直接当たる場所、温度変化の激しい場所、直射日光の当たる場所は、庫内の湿度が安定しないため設置は避けてください。
- 多量に水分を含んだ物を乾燥する能力はありませんので、濡れた物は水分をよく拭き取ってから保管してください。
- 加湿機能はありませんので、外気の湿度より高い湿度にはなりません。
外気の湿度が低い場合には、庫内の湿度が設定湿度より下がることがあります。
- 通電ランプが消えていても乾燥剤の効力が続いている場合は、設定湿度より下がることがあります。
- 温度の調節機能はありません。
- 週に一度は庫内の湿度が安定していることを湿度計でご確認ください。

電子ドライユニットの確認



背面放熱口

- 月に一度は電子ドライユニットに変色がないこと、背面の放熱口にホコリがたまっていないことを確認してください。
- 電源プラグは、コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。
電源プラグがしっかりと差し込まれていなかったり、ホコリがたまたった状態でのご使用は火災の原因となりますので、ご注意ください。

※長期間ご使用いただいている場合は安全のため、確認頻度を増やしてください。

移動・運搬時のご注意

- 電源プラグを抜いてください。
- 庫内に入っている物をすべて取り出してください。
- 棚やディスプレイボードは取り出していただくか、テープで固定してください。
- 扉が開かないようにテープで固定し、本体を持って移動・運搬してください。
- 横倒しの状態で運搬しないでください。

お手入れ方法

柔らかい布で乾拭きしてください。特に汚れが気になる場合は、水で少し湿らせた布で汚れを軽く拭き取りその後乾いた布で水気を拭き取ってください。

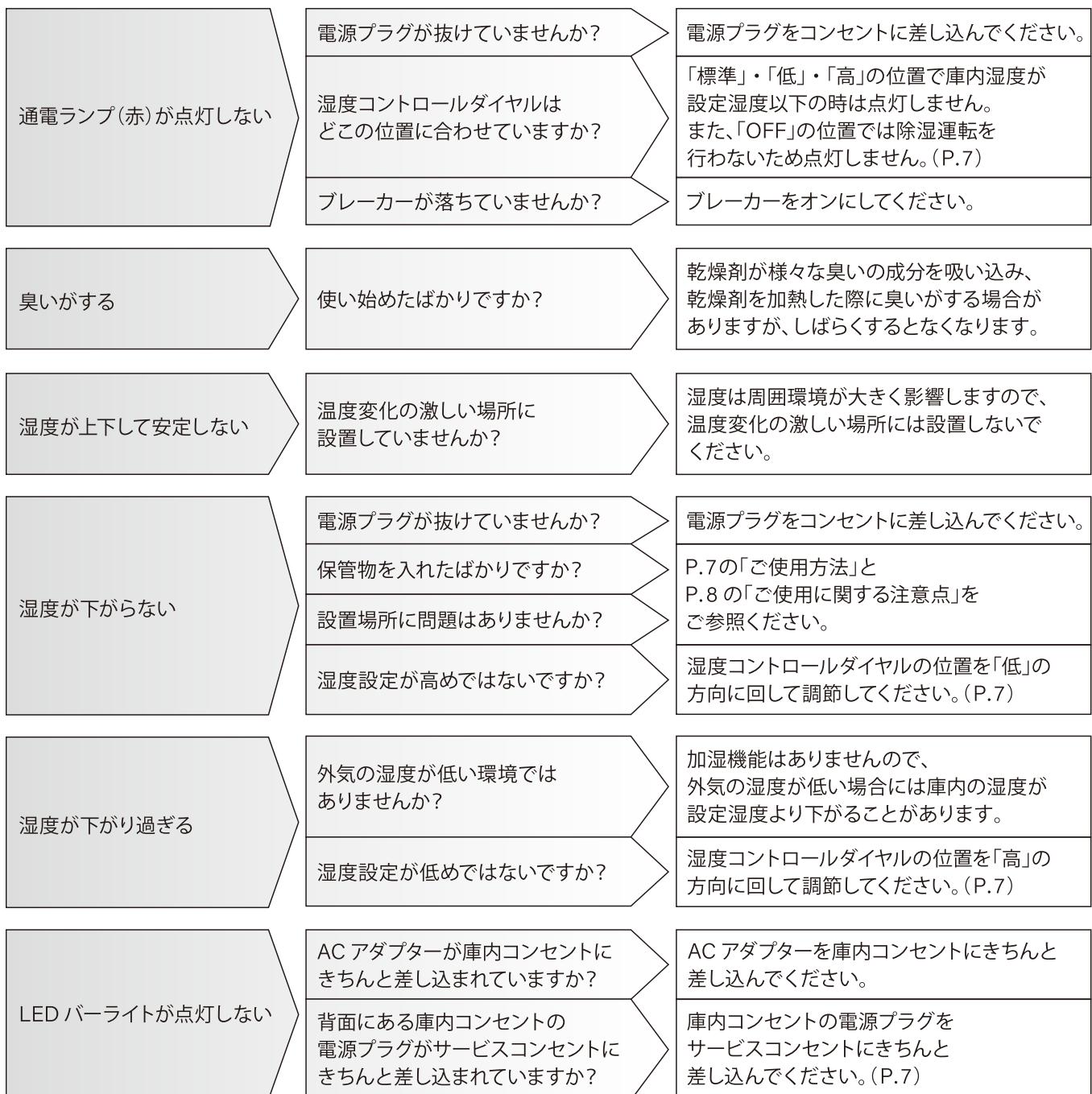
【注意点】

市販の洗浄剤やOAクリーナー・ベンジン・シンナー・アルコール・コンパウンド・ウェットティッシュなどは塗装面を傷めたり、傷が付く可能性がありますので使用しないでください。

また、化学ぞうきんを使用するときは強くこすらず、その注意書きに従ってご使用ください。

故障かな？と思ったら（修理をご依頼される前にご確認ください）

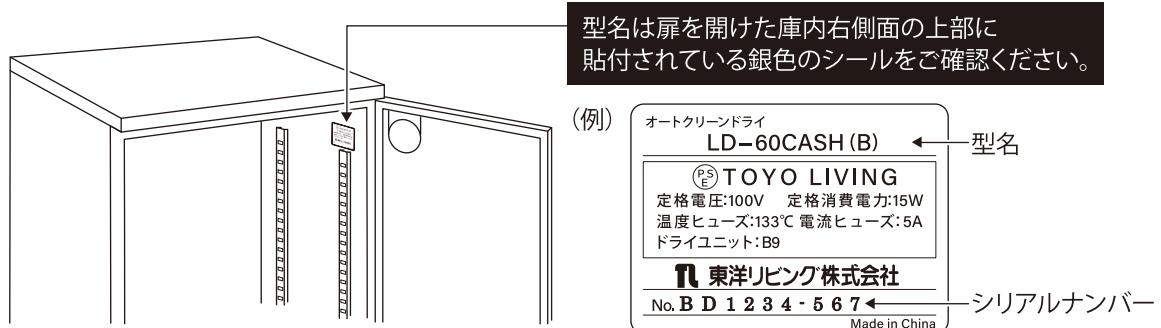
—— まず、電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていることをご確認ください。 ——



※ 以上の項目を確認しても症状が改善されない場合は、本社サービス部 (TEL : 045-841-5511) にご相談ください。

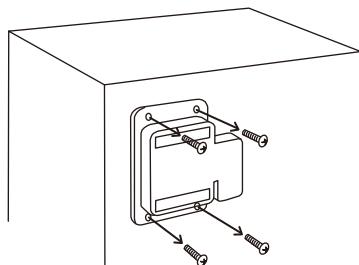
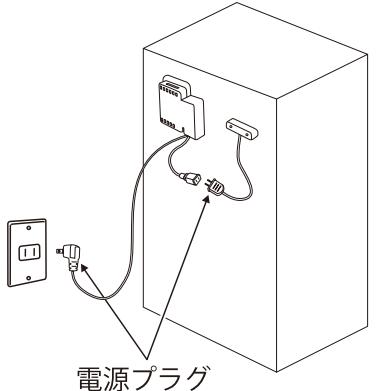
故障のときは 本社サービス部 (TEL : 045-841-5511) にお電話ください

「故障かな?と思ったら」(P.9)をご確認いただき、故障の場合は電源プラグをコンセントから抜いて本社サービス部までお電話ください。その際にお使いの製品の型名とシリアルナンバーをお知らせください。



電子ドライユニットの脱着方法と送付先

1. 2箇所の電源プラグを抜いてください。
2. キャビネット裏側からユニット外周のネジ4本を外し、ユニットを取り外してください。



【電子ドライユニット B型】

◎ 修理完了後、取り付けは上記の逆の順序で行ってください。

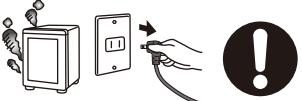
送付先 (電子ドライユニットと湿度計に型名と症状を書いたメモを添えてご送付ください)

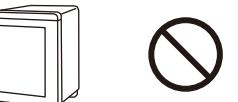
東洋リビング株式会社 那須工場 〒329-3212 栃木県那須郡那須町富岡1230-107 TEL: 0287-72-5577

安全上のご注意

—— 安全にお使いいただくために必ずお読みください。図記号の意味は、下記の通りです。——

 警告	死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
 禁止	絶対に行わないでください。

 警告			
電子ドライユニットの異常時 (煙が出る・こげ臭いなど)には電源プラグを抜く。	電子ドライユニットの修理・分解・改造をしない。	電子ドライユニットに異物を入れたりふさいだりしない。	水のかかる場所、湿気の異常に多い場所、ホコリの多い場所に置かない。
 	 	 	 
火災・感電の原因	火災・感電・けがの原因	感電・けがの原因	火災・感電の原因
電源コードを引っ張る、傷つける、物を載せる、加工する、高温部に近づけるなどはしない。	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。	長期間使用しないときは電源プラグを抜く。	電源プラグにホコリをためない。
 	 	 	 
発火・感電の原因	感電の原因	火災・発火の原因	火災・発火の原因
電源コードを束ねて使用したり、タコ足配線しない。	交流 100V で 15A 以上のコンセントを単独で使用する。奥までしっかりと挿入する。	危険な物(爆発物・可燃性物質・揮発性・引火性のある物・強酸性の薬品)は入れない。	水の入った容器を置かない。
 	 	 	 
火災・発火の原因	火災・発熱の原因	爆発・火災・感電の原因	火災・感電の原因

 注意			
不安定な場所に置かない。 (ガタつくときはアジャスターで調整してください)	エアコンなどの風が当たる場所、温度変化の激しい場所、直射日光の当たる場所に置かない。	台の上などに置く時は壁や柱・床等に固定する。(市販の固定具を使用してください)	キャビネットの上に乗ったり、重い物を載せたりしない。
 	 	 	 
けがの原因	製品の性能が安定しない原因	けがの原因	けが・変形の原因